

2024年度 通信教育実施計画書

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
外国語	英語コミュニケーションⅢa	2	CⅢ701	東京書籍	All Aboard! English communication Ⅲ

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、5つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して第1款の(1)及び(2)に示す資質・能力を一体的に育成するとともに、その過程を通して、第1款の(3)に示す資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 聞くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、話される速さや使用される語句や文、情報量などにおいて支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2) 読むこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量において、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて支援をほとんど活用しなくても文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3) 話すこと[やりとり]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、課題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4) 話すこと[発表]</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>(5) 書くこと</p> <p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて情報や考え、気持ちなどを複数の段階から成る文章で論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>・英語コミュニケーションⅡからさらに700～950語の新語を加え、不定詞、現在完了形、使役動詞、受け身、関係代名詞、など文法事項の中から5つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものを取り扱う。</p> <p>・日常的にはニュース、新聞記事、物語、学校内外の活動、地域社会などを題材として、社会的にはニュース、論証文、記録文などを通して、内容・情報を読みとり4技能(5領域)をバランスよく適宜に取り扱い、学習意欲を高めて行く。</p>
<p>評価の観点</p>	<p>【知識・技能】・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法	
				回	時期	内容	時間		
前期 (後期)	4月 (10月)	Lesson1 Gifts to Barcelona [題材内容]ガウディが設計した建築物の概念や特徴と、バルセロナにおけるその意味について学習する。 [言語材料]to不定詞/動名詞 [言語活動]建築物について、英語で説明できる。	建築物について、英語で紹介することができる。	第1回	スクーリング 6月～7月 (10月～12月)	建物などを通して海外の都市に関心を持ち、読解力表現力を付ける。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	5月 (10月)	Lesson2 Akkamui [題材内容]北海道の野生動物観察ツアーガイドの説明を通して、エゾモモンガやアイヌの人々について学習する [言語材料]現在完了形 [言語活動]生き物の特徴について英語で説明できる。	生き物の特徴について、英語で説明することができる。	第2回	5月 (10月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	5月 (11月)	Lesson3 Your True Colors [題材内容]衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学習する。 [言語材料]使役動詞 [言語活動]ファッションについて英語でインタビューできる。	ファッションについて、英語でインタビューをすることができる。	第3回	5月 (11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
					スクーリング 6月～7月 (10月～12月)	自己表現としてファッションを捉え、読解力と表現力を付ける。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	6月 (11月)	Lesson4 Our Future Food? [題材内容]コオロギを使用する昆虫食についての対話を通して食糧問題について学習する。 [言語材料]受け身 [言語活動]食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。	食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。	第4回	6月 (11月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
	6月 (12月)	Lesson5 Madagascar [題材内容]マダガスカル の自然と人々の生活を通して、地球環境や生態系について考える。 [言語材料]関係代名詞 [言語活動]地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる	地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる。	第5回	スクーリング 6月～7月 (10月～12月)	海外の自然環境や生活についての読解力と表現力を付ける。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
	7月 (12月)	Reading 1The Fun They Had [題材内容]未来の機械化された学校と生徒の日常生活についての物語を読み、各場面の状況と登場人物の心情を読み取る。 [言語活動]各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら、やや複雑な構造の物語を音読する。	内容を理解し、各場面での登場人物の心情をとらえ、音読ができる。	第6回	7月 (12月)	メディア学習により免除	0	レポート 視聴報告書	
					スクーリング 6月～7月 (10月～12月)	未来の学校生活を登場人物の心情を理解しながら読み解く。	1	レポート 視聴報告書 行動観察 課題プリント	
9月 (1月)	単位認定試験							考査	
					面接指導(単位時間) 合計			4	